

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 木 3	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション II English Communication II			
対象年次 1年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等) M15	科目分類		外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:村岡 三奈子 /Eメールアドレス:muraoka@n-junshin.ac.jp /研究室:非常勤講師室 /オフィスアワー:授業後またはメールにて質問を受け付ける				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:現代社会が抱える様々な問題をトピックに、(1) 多角的な視点から論理的に思考し、(2) 自分の意見を表現する技能を段階的に養い、(3) 最終的に英語でディベート出来るようになることを目標とする。  授業方法:原則として、毎週、テキストを一章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、トピックの背景的知識を深める reading およびその summary、最後にトピックに対する賛美両論を分析する categorizing の順で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。  授業到達目標:ある問題の肯定論・否定論を客観的に分析しながら、英語で意見を組み立て、伝達できること。授業の最終回に「ミニ・ディベート大会」でその成果を発表する。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要):テキストに従って、社会・文化・教育・国際関係等、幅広いテーマから、毎週一つずつトピックを選び、問題演習を通して、総合的に英語の四技能を涵養する。  第 1 回 イントロダクション: Definition and Significance of Debate 第 2 回 Chapter 1 Format and Procedures 第 3 回 Chapter 2 Suggestions for Classroom Debate 第 4 回 Chapter 3 Should college English education introduce debate in the curriculum? 第 5 回 Chapter 4 Should the school dress code be left up to individual students? 第 6 回 Chapter 5 Should Japan increase female leaders? 第 7 回 Chapter 6 Should Japan adopt daylight saving time? 第 8 回 Chapter 7 Should the civil code be revised to allow different surnames? 第 9 回 Chapter 8 Should Japan seek permanent status on the U.N. Security Council? 第 10 回 Chapter 9 Should the Japan-U.S. Security Treaty be abolished? 第 11 回 Chapter 10 Should primary schools introduce English into their curriculum? 第 12 回 プレゼンテーション準備 (1) Draft #1 第 13 回 プレゼンテーション準備 (2) Draft #2 第 14 回 プレゼンテーション 第 15 回 定期試験				
キーワード				
教科書・教材・参考書	教科書: <i>Enjoy Debating</i> (EICHOSHA)			
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況:10% 小テスト:20% プレゼンテーション(ディベート):30% 筆記試験:40% 等を総合的に判断する。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標				
備考(準備学習等)				